

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 1 年 5 月 23 日 (2019.5.23)

【公開番号】特開 2018-11776 (P2018-11776A)
 【公開日】平成 30 年 1 月 25 日 (2018.1.25)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-003
 【出願番号】特願 2016-143314 (P2016-143314)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】
 【提出日】平成 31 年 4 月 4 日 (2019.4.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

タイマ値を更新することによって所定時間をカウントするカウント手段と、
電断時に前記タイマ値を記憶するタイマ値記憶手段と、
電断時から電源投入時までの電断時間を計測する電断時間計測手段と、
 所定の操作部材と、

前記所定の操作部材を操作して電源が投入された場合、前記タイマ値記憶手段により記憶されている前記タイマ値と前記電断時間計測手段により計測された前記電断時間とを加算した値を、前記カウント手段がカウントする前記タイマ値として設定する電源投入時タイマ値設定手段と

を備える遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

そこで、本発明は、電断による時間のずれを低減させることができる技術の提供を課題とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明は、上述した課題を解決するため以下の解決手段を採用する。なお、以下の括弧書中の文言はあくまで例示であり、本発明はこれに限定されるものではない。

解決手段 1：本解決手段の遊技機は、タイマ値を更新することによって所定時間をカウントするカウント手段と、電断時に前記タイマ値を記憶するタイマ値記憶手段と、電断時

から電源投入時までの電断時間を計測する電断時間計測手段と、所定の操作部材と、前記所定の操作部材を操作して電源が投入された場合、前記タイマ値記憶手段により記憶されている前記タイマ値と前記電断時間計測手段により計測された前記電断時間とを加算した値を、前記カウント手段がカウントする前記タイマ値として設定する電源投入時タイマ値設定手段とを備える遊技機である。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本解決手段では、以下の流れで遊技が進行する。

(1) 本解決手段の制御は、例えば、所定時間に一回（例えば、数時間に一回）、複数の遊技機で一斉に演出を行う一斉演出を実行する場合に適用することができる。

(2) タイマ値（一斉演出用タイマ）を更新する（加算処理を実行する又は減算処理を実行する）ことによって上記（1）の所定時間をカウントする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

(6) 上記（5）所定の操作部材を操作して電源が投入された場合、上記（3）により記憶されているタイマ値と上記（4）により計測された電断時間とを加算した値（バックアップされているタイマ値＋電断時間）を、上記（2）がカウントするタイマ値として設定する。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

このように、本解決手段によれば、所定の操作部材を操作して電源が投入された場合にだけ、タイマ値と電断時間とを加算した値をタイマ値として設定する。このため、電断復帰時に常にリアルタイムクロックから時間情報を取得する制御方式と比較して、電断時間を計測する電断時間計測手段を使用する場面を限定することができる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

このため、電断時間計測手段の精度がそれほどよくない状況であっても、電断時間計測手段を使用する場面が少なくなることから、電断時間計測手段に頼る回数（参照する回数）が減ることになり、結果として、電断による時間のずれ（例えば、複数の遊技機で実行する一斉演出に徐々にずれが生じてしまうということ）を低減させることができる。これにより、遊技者に与える違和感を軽減させることができる。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 8 】

本発明によれば、電断による時間のずれを低減させることができる。